

CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.216 2016. 7



➤ 第20回高専ソコチカラを開催しました。

3月6日（日）、あかがねミュージアム（新居浜市総合文化施設）で第20回高専ソコチカラを開催しました。

高専ソコチカラは、文化部及び文化系の愛好会がそれぞれの日頃の成果を披露する合同発表会で、学生が主体となって、毎年春（3月頃）と夏（7月頃）の2回開催しています。今回初めて、あかがねミュージアムでの開催となりました。

当日は天気に恵まれ、また新居浜駅前という立地もあり、多くの方々が来場されました展示ブースにも多くの方が訪れ、盛況のうちに幕を下ろしました。

参加クラブは以下のとおりです。

＜演技＞

吹奏楽部、奇術部、軽音楽部、美術部、声楽愛好会、演劇愛好会、DANCE 愛好会、ESS

＜展示＞

写真部、美術部、文学漫画創作愛好会、マルチメディア愛好会

次回、第21回は7月9日（土）の開催を予定しています。お楽しみに！



➤ 学生会がキンモクセイを植樹しました。



3月14日（月）、学生会を代表して学生会長の大麻智也さんが、校内西門近くの敷地にキンモクセイを植樹しました。これは、学生会意見箱に学生から「キンモクセイを植えてほしい」との要望があったことがきっかけとなり、実現したものです。

地元新居浜は「太鼓祭り」が盛んな地域であり、キンモクセイの花が咲き、香り始める時期が祭りの時期と重なることから、多くの人々にとって、キンモクセイの香りが、祭りの時期を知らせ、気持ちを高揚させるものとなっています。

大麻学生会長は、「卒業前に植樹ができて、嬉しく思っています。この木が大きくなり、学校中に秋の季節の到来を香りとともに知らせてくれればと思います。」と、感想を述べていました。

➤ 平成28年度入学式を挙行了しました。

4月5日（火）、新居浜市市民文化センターにおいて平成28年度入学式を挙行し、本科214名（編入学生3名、留学生2名を含む）、専攻科21名が、これから始まる高専生活に胸をときめかせ、本校に入学しました。

迫原校長は式辞で、「新しい技術の開発には、柔軟な発想力を持った技術者の育成が必要不可欠です。皆さんには、是非これに答えてほしいと思います。」と述べ、皆緊張した雰囲気の中、歓迎と期待の言葉を真摯に受け止め、新たな生活をスタートさせました。



➤ 名誉教授称号授与式を行いました。

4月12日（火）、校長室において新居浜工業高等専門学校名誉教授称号授与式が行われ、関係教職員出席のもと、平成28年3月31日付で定年退職された元教授に校長から称号記が授与されました。

名誉教授の称号を授与された方々は、次のとおりです。

（敬称略）

元生物応用化学科 教授 牛尾 一利（平成28年4月1日付け特任教授）

元電子制御工学科 教授 今井 伸明



➤ 環境材料工学科の取り組みが、奨励賞を受賞しました。

平成28年3月、本校環境材料工学科の志賀 信哉 教授、松英 達也 教授、平澤 英之 准教授の3名が、一般社団法人日本電気協会新聞部の電気新聞から、電気新聞 第10回「エネルギー教育賞」において奨励賞を受賞しました。

この賞は、日本電気協会がエネルギー・環境教育の実践活動に取り組んでいる小中学校、高校、高専等を広く募集し、優れた事例を表彰しているものです。

「学生に現在の発電技術を体験させ、環境保全との関わりを材料工学的観点から具体的に



紹介する取り組みや、地域社会と連携した出前講座や体験型授業等の実施が、地域全体のエネルギー教育を支援している。」と学内から推薦を受け応募したもので、それが今回の受賞となりました。

受賞した平澤准教授は、「エネルギーと環境との関わりについて好奇心を育む、より分かりやすい体験型授業を計画していきたい。」と、今後の意気込みを語りました。

➤ 合宿研修所とプールを改修しました。

本校の合宿研修所を全面改修しました。

改修後の合宿研修所は、5室の宿泊室、男子ユーティリティスペース、女子ユーティリティスペース、水回り等を完備しました。改修前は1室に2機あったシャワー水栓から、完全個室化のユニットシャワー4室となり、そのうち1室は女子学生に配慮し、女子ユーティリティスペースに配置しました。さらには、宿泊室に2段ベ



ッドを設置し、第1宿泊室から第4宿泊室にはそれぞれ12名、第5宿泊室には4名が宿泊できるようになりました。

また、グラウンド東にあるプールについても、スタート台の更新、プール本体とプールサイドの防水処理及びプール下ピット内の躯体改修を行いました。

➤ 外国人留学生相談員（チューター）の委嘱式を行いました。



4月6日（水）、本校編入学後1～2年目となる留学生3、4年生の、学習面や身の回りのことをサポートする相談員（チューター）の委嘱式を行いました。

本年度3、4年生に在籍する4名の留学生に、1対1でサポートができるよう4名の学生が、早瀬教務主事（副校長）から相談員の委嘱状を手渡され、外国から来日して間もない留学生が困らないよう、相談員らはサポートする重要性について説明がありました。

➤ 外国人留学生防犯・交通安全講話を実施しました。

4月26日（火）、渡航間もない留学生が犯罪被害に遭わないための心構えや交通ルールについて学ぶ新居浜警察署主催の防犯・交通安全講話が、本校で開催され、留学生6名が参加しました。

講師から、外国人を狙った犯罪に巻き込まれることがないように普段から気をつけておくことや、自転車の交通ルールについて、ホワイトボードで示しながら、わかりやすく丁寧に説明していただきました。

また、本年度入学した留学生を主に、自転車運転シミュレーションマシンを利用し、教えていただいた自転車の交通ルールを確認しました。

加えて、自転車盗難防止ロックを贈呈していただき、留学生らは防犯・交通安全の意識を高めた様子でした。



➤ 選挙啓発講座を開催しました。

5月13日（金）、新居浜市選挙管理委員会事務局から講師を招き、本科5年生を対象に「選挙啓発講座 ～選挙スキルを上げよう～」と題して、選挙に関する講座を開催しました。

本講座は、公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け企画したもので、選挙における基礎知識や、やっていいこと、悪いことを4択のクイズ形式にして解説するなど、学生にとってたいへん分かりやすいものとなりました。



今夏の参議院議員選挙では、本校の図書館棟1階ロビーに期日前投票所を設置することとなっております。また、投票立会人や、投票用紙を渡すなどの選挙事務も本校の学生が行います。

なお、本講座については、今後3年生、4年生に対しても開催する予定です。

➤ **平成28年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会を開催しました。**

4月28日（木）、29日（金）の2日間、新居浜市市民文化センター（本校主管）において、専攻科生研究交流会を開催し、中国・四国地区13高専の専攻科生及び教職員約350名が参加しました。

本研究交流会は、中国・四国地区高専の専攻科生が集い、本校の実行委員長を中心に各校の実行委員による運営により開催し、日頃の研究成果の発表を行う場となっています。研究発表では、口頭やポスターでこれまでの研究成果を発表し、質問や議論を活発に行いました。

また、28日（木）には情報交換会を行い、他高専の専攻科生と交流を深めました。来年度は、宇部高専が主管校の予定です。



➤ **専攻科入学者選抜検査（学校長推薦）合格発表を行いました。**



5月25日（水）午前10時、平成29年度学校長推薦による専攻科入学者選抜検査の合格発表を行いました。

合格者のみなさん、専攻科での一層の飛躍を期待いたします！

➤ **留学生が新居浜ユネスコ協会主催の国際理解（交流）文化セミナーで母国紹介を行いました。**

5月16日（月）、新居浜市市民文化センターで開催された新居浜ユネスコ協会主催の標記セミナーにて、生物応用化学科4年のアンディカさんが母国インドネシアの魅力を紹介しました。

アンディカさんは写真とビデオをふんだんに使ったプレゼンテーション資料を用いて、インドネシアの民族や文化、風光明媚なスポットを紹介しました。来場者からは、「日本からはどのようにして訪れたらよいか」など、多数の質問があり、大変興味を持ってもらえた様子でした。

アンディカさんにとっても、さらなる日本語上達に向け、とてもよい機会となりました。



➤ **全国高専プログラミングコンテスト学内選考会を開催しました。**



5月16日（月）、全国高専プログラミングコンテストに向け、学内選考会を開催しました

今年の大会テーマは「輝く真珠は僕らの発想（アイデア）」です。課題部門（「スポーツで切り拓く明るい社会」をテーマに競う。）・自由部門（自由なテーマで独創的な作品を競う。）・競技部門（与えられたルールによる対抗戦）に本校代表として出場を希望するチームが、それぞれのアイデアを発表しました。

本校代表チームは6月27日（月）の予選会（書類審査）を経て、10月8日（土）・9日（日）に伊勢市観光文化会館で開催される本選に臨みます。

➤ 学生大会及びクラスマッチを開催しました。

5月18日（水）、学生会主催の学生大会を第1体育館において開催し、本年度予算等の承認、学生会役員への委嘱状交付を行いました。

大会後、学内クラスマッチを開催し、クラス対抗で競い合いました。当日は晴天となり、心地よい天候の中、チームプレーを通して、クラス間の絆を深め、他学年とも友好的な親睦を図ることができました。

○開催種目

障害走・玉入れ・五人六脚・綱引き・部活動対抗リレー・大富豪 等



➤ スラバヤ工科大学と学術交流協定を締結しました。

5月27日（金）、インドネシア共和国のスラバヤ工科大学と学術交流に関する協定を締結しました。



協定の内容は、学生および教職員の交流、共同研究の推進等が盛り込まれ、スラバヤ工科大学において行った締結式で、同大学の Joni Hermana 学長と本校迫原校長が、協定書に署名しました。締結式に引き続き、両校が学校概要を紹介し、学生のインターンシップや相互訪問、さらには教員の受入等今後の交流についての意見交換を行いました。本校は、当学術交流協定の締結によって、さらなる国際交流の推進と世界に通用する人材の育成に取り組む計画です。

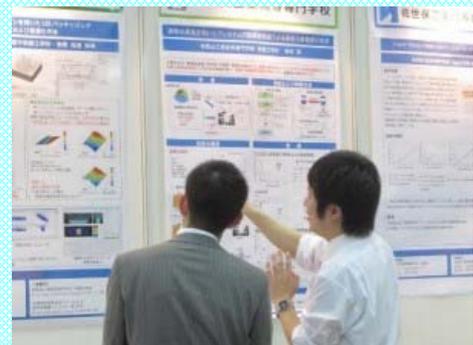
【スラバヤ工科大学の概要】

スラバヤ工科大学は、インドネシア共和国のスラバヤにあります。スラバヤは首都ジャカルタに次ぐ第2の都市で、東ジャワ州の州都でもあります。人口は約300万人です。同国においてスラバヤ工科大学は優秀な技術系大学として知られており、約19,000人の学生が在学しています。また、スラバヤ工科大学の多くの教員が、日本への留学経験があります。

➤ 2016 NEW環境展に出展しました。

5月24日（火）～27日（金）の4日間、東京ビッグサイトにおいて、2016 NEW環境展（日報ビジネス株式会社主催）が開催されました。

再資源化・廃棄物処理、新エネ・再エネ推進、収集・運搬・搬送・物流・保管、水処理・水浄化、土壌・大気・環境改善等の最新技術における環境をテーマとしたアジア最大級の展示会で、600を超える企業・団体からの出展があり、4日間で157,958名の来場者がありました。



国立高専機構のブースには、全国から14校の環境に関する研究の出展があり、その一つとして本校

からは電子制御工学科 柏尾 知明 助教が「光線追跡シミュレーションを用いたLEDパッケージングの光学設計および最適化手法」というテーマで出展しました。ブースには多くの企業、研究機関の技術者、研究者、関係者が訪れ、紹介した研究内容や技術に深い関心を示す方も多く、今後の他機関との共同研究のきっかけとなりました。

➤ 学生が優秀講演発表賞を受賞しました。



平成28年度日本材料科学会四国支部第25回講演大会において、生産工学専攻環境材料工学コース1年 伊藤 善紀さんの研究発表が優秀講演発表賞を受賞しました。

日本材料科学会四国支部講演大会では、四国の企業・大学・高専から研究者が集まり、研究成果の発表を行います。

伊藤さんの講演タイトルは、「Al 置換型 $MgFe_2O_4$ の作製と交流磁場中での発熱特性」であり、指導教員である 平澤 英之 准教授の指導のもと、がんの新しい治療法を確立する新規磁性ナノ粒子の開発手法についての研究発表を行いました。

今回の受賞を受け、伊藤さんは「この度は、優秀講演発表賞をいただき、たいへん嬉しく思います。多くの知識や助言をくださった指導教員及び同研究室員には心から感謝し、今後さらなる研究へと発展させることができるよう取り組んでいきたいと思っております。」と、受賞の感想を述べました。

今後、ますますの活躍を期待しています。

➤ 平成28年度第1回ブックハンティングを実施しました。

6月11日（土）、宮脇書店総本店（高松市）において、平成28年度第1回ブックハンティングを実施しました。

ブックハンティングは、学生自身が希望する書籍を選び、購入することにより図書館利用を促進し、本に親しむことを目的に、年2回実施しています。

今回は18名（学生13名、教員5名）が参加し、専門書や小説、資格・試験などの書籍を熱心に探索し、購入希望図書の選書を行いました。

なお、購入書籍の配架は平成28年7月中旬の予定です。



➤ 台湾から短期留学生在が来校しました。



6月20日（月）、台湾にある国立聯合(れんごう)大学の女子学生、方紹安さんと許馨文さんが短期留学生（実習生）として本校に来校しました。留学期間は約1ヶ月で、その間に、本校の学生に中国語を教える教育実習を行います。また、宿泊については学寮を利用し、実習が終わり次第、成果報告会を開催する予定です。さらに7月からは、同大学華文系の 何修仁 教授が実習監督者として来校します。短い期間にはなり

ますが、日本の文化にも触れ、多くのことを学んでほしいと思っております。本校の学生にとっても、異文化を理解する貴重な体験となることでしょう。

なお、今回の留学については、高専機構と国立聯合大学との包括協定に基づき実施しているものです。

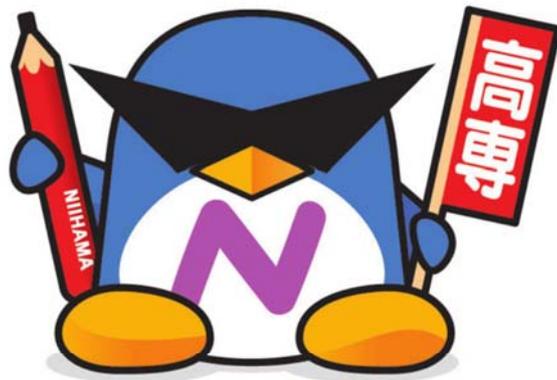
➤ **朝日保育園の災害時避難訓練を受入れました。**

本校は、地震等の大規模災害が発生した場合の避難場所として、新居浜市から指定を受けています。

6月24日（金）、新居浜市朝日保育園が、地震発生時の津波警報を想定した避難訓練を行い、本校が避難先として、これを受け入れました。訓練は朝日保育園から本校までの道のりを避難することで行われ、園児と先生方は本校に到着後、尚友会館の学生食堂のなかで待機し、園児の保護者のお迎えを待ちました。



Campus Now



技術で**羽ばたけ**
世界へ未来へ
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜高専

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842